

販売単価上昇による消費マインドの低下が深刻化

人材確保難や2024年問題による物流の停滞など問題が山積

～景況DI値は、前年同月比7.8ポイント低下のマイナス28.9～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 4月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI値前月比10.4ポイント低下のマイナス15.7、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス47.4。非製造業では、前月比73.7ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0。

販売(受注)価格 製造業では、DI値前月比5.2ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、DI値前月比21.1ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比5.2ポイント低下のプラス47.4。

収益状況 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス36.9。非製造業では、前月比42.2ポイント低下のマイナス10.6、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス21.1。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。

雇用人員 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のプラス5.3、前年同月比10.4ポイント低下のマイナス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比15.7ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比31.5ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比同水準のマイナス21.1。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比18.5ポイント低下のマイナス7.9、前年同月比7.8ポイント低下のマイナス28.9となった。製造業では、一部業種で価格転嫁による販売価格の上昇が見受けられたものの、価格転嫁しきれず原材料等の高騰による収益の悪化が進む業種も散見された。非製造業では、大型連休に入る下旬にかけて人流が増加し、観光関連を中心に売上高は増加、収益状況も好転した。一方で長引くガソリン価格の高騰により、運送関連を中心に収益が悪化しており、状況は引き続き厳しい。県内景況は、原材料及び仕入価格等高騰の影響による経費負担の増加が長引いており、販売単価上昇が消費(発注)量に影響するなど、業界を問わず消費マインドの低下が深刻化している。加えて、人材確保難や2024年問題による物流の停滞など問題が山積しており、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

4月の全国倒産は、件数760件で、（前年同月610件、24.6%増）と、24ヵ月連続で前年同月を上回った。3ヵ月ぶりに前月を下回ったが、前年同月より150件多く、4月としては4年ぶりに700件超えとなった。負債総額は946億円（前年同月208億700万円、54.7%減）と、2ヵ月連続で前年同月を下回った。

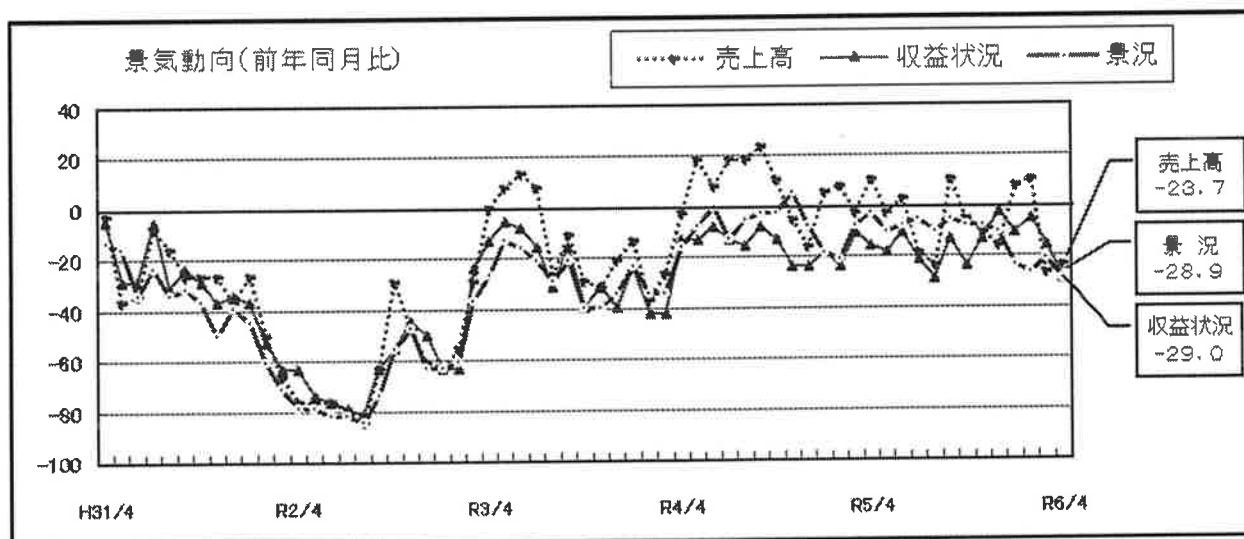
一方、4月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月2件）、負債総額は4400万円（前月1億3800万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報3月分」）

鳥取県の3月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.31倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.28倍）で、前月より0.01ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.10倍、米子所1.52倍、倉吉所1.38倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.57倍（季節調整値）で、前月より0.33ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比14.4%減少し、有効求人数も11.2%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、卸売業・小売業（13.1%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比8.0%減少、有効求職者数は前年同月比2.3%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.27倍で、前年同月比で0.19ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ8.3%減少した。



4月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	36.8%	-15.7 -10.4	26.3%	42.1%	-15.8 -73.7	23.7%	39.5%	-15.8 -42.1
(2)在庫数量	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	16.7%	0.0%	16.7 8.4	6.5%	9.7%	-3.2 0.0
(3)販売価格	5.3%	5.3%	0.0 -5.2	21.1%	0.0%	21.1 21.1	13.2%	2.6%	10.6 8.0
(4)取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	5.3%	-5.3 -10.6	0.0%	7.9%	-7.9 -7.9
(5)収益状況	10.5%	31.6%	-21.1 -10.5	10.5%	21.1%	-10.6 -42.2	10.5%	26.3%	-15.8 -26.4
(6)資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 -21.0	5.3%	13.2%	-7.9 -10.5
(7)設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6						
(8)雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	5.3%	0.0%	5.3 -10.5	2.6%	2.6%	0.0 -2.6
(9)景況	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	15.8%	15.8%	0.0 -31.5	10.5%	18.4%	-7.9 -18.5

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	10.5%	57.9%	-47.4 -5.3	26.3%	26.3%	0.0 10.5	18.4%	42.1%	-23.7 2.6
(2)在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 15.8	8.3%	8.3%	0.0 -25.0	6.5%	12.9%	-6.4 0.0
(3)販売価格	15.8%	15.8%	0.0 5.3	47.4%	0.0%	47.4 -5.2	31.6%	7.9%	23.7 0.0
(4)取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	10.5%	10.5%	0.0 15.8	7.9%	13.2%	-5.3 7.9
(5)収益状況	10.5%	47.4%	-36.9 -15.8	10.5%	31.6%	-21.1 -10.6	10.5%	39.5%	-29.0 -13.2
(6)資金繰り	5.3%	36.8%	-31.5 -5.2	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	5.3%	26.3%	-21.0 0.1
(7)設備操業度	5.3%	36.8%	-31.5 -10.4						
(8)雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 10.6	5.3%	10.5%	-5.2 -10.4	5.3%	13.2%	-7.9 0.0
(9)景況	5.3%	42.1%	-36.8 -15.7	10.5%	31.6%	-21.1 0.0	7.9%	36.8%	-28.9 -7.8

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 輸出及びP B商品が好調に推移したことにより、収益及び資金繰りに明るさが見られる。

醤油⇒ 国内向けの数量は5%程度減少したものの、販売価格が上昇したことで前年並みが続いている。県下で一番の生産規模であった事業者が自主廃業となり、業界全体への影響が出てきている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 過去に例を見ないほど仕事量は減少している。在庫を抑えるため生産も縮小され、バーゲン販売が減っている。

ニット製品⇒ 引き続き衣料品小売市場は低調に推移している。海外からの輸入品は円安ながら減少しておらず、国内メーカーは操業度の維持が困難な状況となっている。

【家具装備品】

⇒ 多くの商品で値上げの動きもあり、消費マインドも冷え込んでいる状況。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少となり、収益状況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品および合板の生産量とも前月比で同水準、前年同月比で減少となった。輸入材などの先高観から国産材の需要が期待され、公共建築で一部活発な地域があるものの、昨年からの住宅建築不況の影響と働き手不足により総じて業況は悪化の傾向が見られる。プレカット加工の稼働率は、前月比55%減少、前年同月比は65%減少で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに減少となり、引き続き業況は厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、新年度のスタートとともに動きは見られるものの、物価の上昇(原材料、輸送コスト)、人件費の確保、仕入れ値等が販売価格に転嫁しきれず、収益は減少している。地域密着型の印刷物の需要はあるものの、市場調査などのデータに基づいた提案型の人材を早急に育てない限り、中小経営規模の会社は存続が難しくなっている。デジタル化への適応と情報共有の向上を図ることが業界として喫緊の課題となっている。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 4月の生コン出荷量は、前月比で約14%増加、前年同月比で約16%減少

となった。東部地区では昨年夏の豪雨被害への災害復旧工事案件が増えつつある。西部地区では防衛省関連、米子道4車線化のトンネル工事が中心で、前年並みを維持している。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は少なくなっており、低価格競争の状況。鋼材価格は高値推移のため、計画の先送りも見受けられる。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いている。機械加工は、自動車関連に動きが出始めたものの、十分な仕事量を確保できていない。電気代等諸経費の物価高騰により、低価格競争による受注単価低下により採算は厳しい。

鉄骨加工⇒ 物件の量が少なく安値での受注となり、結果として加工業者側が負担するなど、利益圧縮となり厳しい状況。また、人件費、運送、溶接材料、ガスなどの価格が軒並み上昇しているものの、価格転嫁には至っていない。物件量の少なさから本格的な価格転嫁に至るのは来年度以降となる見込み。

金属熱処理⇒ 受注量は前月比、前年同月比ともに増加の結果となったが、4月は火力発電用部品の発注が顕著であった影響が大きく、金属機械加工業そのものの景気回復には至っていない。自動車や建設機械などは動きがまだ弱く、見積等の引合いはあるが具体的な受注には時間を要する見通しである。また、電気・ガスのエネルギーや資材のコスト高が続いており、利益率を押し下げたままである。

【電気機械器具】

⇒ 年度末に向けて生産が若干増加した。材料の供給は安定しているものの、4月以降の予定も増産の傾向は見受けられず、依然として先行きは不透明なままである。現時点で人員不足は解消されているが、増産傾向になれば不足することが懸念される。原材料等高騰による経費負担の増加により利益見込みは依然厳しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、季節の野菜、果実とも収穫の狭間で生産者の持込みが減少したことで取扱数量は前月比、前年同月比とも減少となった。売上高は単価の上昇により前年同月比で大きく増加した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。売上高は単価の低下により前月比で減少、前年同月比では微増となった。

中部地区⇒ 従業員の高齢化が進むなか、人材確保育成に苦慮している。給与の引き上げ、引き継ぎする人材育成など問題が山積している。また、先月よりも2024年問題による運送遅延の発生が見受けられる。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見され、影響の増大が懸念される。

水産物⇒ 4月の巻き網は天候にも恵まれ小型のマイワシの豊漁が続き昨年を上回る水揚げ量となった。冷蔵庫の処理・保管能力の問題から中盤以降、一定の漁獲制限も実施されたが荷動きとしては良好な状況となっている。近海物については例年通りの底引き主体の水揚げとなったが赤ガレイ・ハタハタの水揚げがまとまらず特に干し物原料の不足に苦慮している。紅ズワイガニは安定的な水揚げとなり、蟹シーズンの終了・潤沢な輸入ガニの価格低下等のことから安価な浜値となった。

リサイクル原料⇒ 依然として古紙の発生は減少傾向で推移しており、他地域からの進出により取扱量の減少が続いている。前年同月比で売上は減少、収益状況は依然として厳しい。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取の商店街では、4月度は上旬に桜の開花もあり、近隣のお花見スポットに訪れる来街者で賑わった。29日には恒例の鳥取市花のまつりが開催され、多くの来場者を迎えることができた。飲食、宿泊関連は、インバウンドも含めて好調を維持しているものの、小売業の売上は低調となっている。円安が進み、光熱費やガソリン価格をはじめとする物価高騰の影響による経済的不安要素は改善しておらず、消費マインドの低下が続いている。また、人手不足も深刻な課題となっている。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、行楽シーズンを迎え、商店街を含め近隣の赤瓦・白壁土蔵群に人出が出始めた。観光バスも増加したものの、倉吉市が東部、西部、三朝温泉に向かう一時的な中継点となっているため、足を止めてもらい、消費を促進するような方策を検討する必要がある。

西部地区⇒ 米子の商店街では、ソウル便の就航の流れで、韓国人観光客が少しずつ増えつつあり、全体として県外客やインバウンドが増加傾向となっている。

境港市の水産物小売では、4月は大型連休に突入すると同時に販売施設の来場者・売上ともに増加したが、大型連休前半は後半に備えてか、来場者数が伸びなかった。前年同月比と比較すると、鮮魚販売についてはそれほど大きな変化はないが、飲食店・土産物店については売上の増加は顕著となった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、好天にも恵まれ、観光客の入込数は前年並みで推移した。また4月19日に砂の美術館第15期展示がスタートし、大型連休も絡み入込数が増加した。売上高は前月比で増加、前年同月比は不変であった。

米子市のホテル・旅館では、原材料費、燃料費等、高騰しているが価格へ転嫁しており収益に変化は見られない。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、春休みに入り4月前半は多くの観光客で賑わった。大型連休前は減少傾向となったが、大型連休に入ると再び入込客数が増加した。2024年問題もあり、大型バスへの影響が懸念されるものの、バスツアーの需要は高まってきている。

羽合温泉では、4月の宿泊は前月比で3割程度減少し、前年同月比でも2割弱の減少となった。県外の旅行割などの影響のほか、4月は宿泊施設の改修やメンテナンスにより休館日が多くなり、宿泊が伸び悩んだ。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて1,631台で前月比は普通車48%、軽自動車約38%の減少、前年同月比は普通車約6%、軽自動車約22%の減少で、中古車は普通車・軽自動車を合わせて844台で前月比約9%減少、前年同月比約6%の増加となった。継続検査（軽自動車を含む）は14,925台で前月比約32%の減少となったが、前年同月比では約3%の増加となった。新年度になり対前月比で大幅な売り上げの減少となった。

【建設業】

⇒ 3月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額88億円(前年同月比12.9%減)、件数118件(同11.9%減少)となった。年度累計(令和5年4月～令和6年3月)は、請負金額966億円(前年同月比24.3%増加)、件数1,708件(同7.0%増加)となった。

3月の鳥取県新設住宅着工戸数は184戸(持家103戸、貸家81戸)で、前月比8%減少、前年同月比4%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 4月の物流は、売上高は前月比、前年同月比ともに減少しており厳しい状況が続いている。低調であった荷動きに改善の兆しが見られたものの、長引く燃料価格の高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。2024年問題に対し、ドライバー不足の解消のため労働状況の改善や賃金の上昇も視野に入れながら、荷主との価格交渉も粘り強く行っていく必要がある、今後も厳しい状況が続くことが懸念される。一方でデジタル技術の導入や効率化に取り組むなか、従来の労働力に対する依存からの脱却と、新たな人材育成が求められる。

西部地区⇒ 4月の燃料価格については、燃料配送に伴う運賃の増加及び元売り価格増加により若干の増加となった。また、「2024年問題」により長距離輸送の見直しなど全体的に燃料取扱量、高速取扱量は減少傾向が続いている。また、業界として恒常的な人員不足が一層深刻となっているほか、ドライバーの高年齢化は早急に対策を打たなければならない喫緊の課題となっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・景気回復に寄与する政策を打ち出してもらいたい。【商店街】
- ・商店街に足を運んでもらうためのプロジェクトを立ち上げ、街の活性化を支援して欲しい。【商店街】

最近の指標の前月比D Iの推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売上高	製造業	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-5.2
	非製造業	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	42.1
	全業種	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	18.4
在庫数量	製造業	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	-21.1
	非製造業	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	16.7
	全業種	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-6.4
販売価格	製造業	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.3
	非製造業	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	31.7
	全業種	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	13.2
取引条件	製造業	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2
	非製造業	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3
	全業種	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-5.3
収益状況	製造業	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	5.2
	非製造業	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	31.5
	全業種	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	18.4
資金繰り	製造業	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	5.3
	非製造業	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	21.1
	全業種	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	13.2
設備操業度	製造業	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	10.5
雇用人員	製造業	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3
	非製造業	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	0.0
	全業種	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	-2.7
景況	製造業	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	15.8
	非製造業	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	15.8
	全業種	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	15.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売上高	製造業	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-15.8
	非製造業	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-52.6
	全業種	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-34.2
在庫数量	製造業	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8
	非製造業	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	-8.4
	全業種	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	-12.9
販売価格	製造業	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-26.3
	非製造業	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	10.6
	全業種	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	-7.9
取引条件	製造業	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	0.0
	非製造業	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	15.8
	全業種	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	7.9
収益状況	製造業	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	15.7
	非製造業	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-42.1
	全業種	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-13.3
資金繰り	製造業	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	10.6
	非製造業	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-10.5
	全業種	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-42.0
設備操業度	製造業	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-10.4
雇用人員	製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0
	非製造業	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	0.1
	全業種	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	0.0
景況	製造業	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-5.2
	非製造業	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-47.4
	全業種	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-26.3

情報連絡員報告総括表(令和6年4月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	2	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0		
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0		
木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	4	0	0	3	1			
紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	0			
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0			
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2			
一般機器	1	1	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0			
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
輸送用機器																											
その他	4	8	7	0	16	3	1	17	1	0	17	2	2	11	6	1	15	3	2	13	4	0	18	1			
19	21.1%	42.1%	36.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%			
100%	21.1%	42.1%	36.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%			
卸売業	1	4	1	1	5	0	1	5	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0	0	6	0	0	6	0			
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0			
商店街	1	2	1	0	4	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0			
サービス業	2	0	3				1	4	0	0	4	1	1	2	2	1	3	1	0	5	0	1	3	1			
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0			
その他																											
19	5	6	8	2	9	0	4	15	0	0	18	1	2	13	4	1	16	2	1	18	0	3	13	3			
100%	26.3%	31.6%	42.1%	16.7%	75.0%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	94.7%	0.0%	15.8%	68.4%	15.8%			
38	9	14	15	2	25	3	5	32	1	0	35	3	4	24	10	2	31	5	2	13	4	1	36	1			
100%	23.7%	36.8%	39.5%	6.5%	80.6%	9.7%	13.2%	84.2%	2.6%	0.0%	92.1%	7.9%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	81.6%	13.2%	10.5%	68.4%	21.1%	2.6%	94.7%	2.6%			
100%	23.7%	36.8%	39.5%	6.5%	80.6%	9.7%	13.2%	84.2%	2.6%	0.0%	92.1%	7.9%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	81.6%	13.2%	10.5%	68.4%	21.1%	2.6%	94.7%	2.6%			

情報連絡員報告総括表(令和6年4月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	0		
繊維工業	0	2	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	1	2			
製 木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	2	2	0	1	3	0	2	1	0	3	1	0	3	2			
紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1			
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	0			
造 化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1			
鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2			
一般機器	1	1	1	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0			
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
輸送用機器																											
その他																											
19	2	6	11	1	15	3	3	13	3	1	15	3	2	8	9	1	11	7	1	15	3	1	10	8			
100%	10.5%	31.6%	57.9%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	68.4%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	42.1%	47.4%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	52.6%	42.1%			
非 卸売業	3	2	1	1	5	0	3	3	0	1	5	0	1	3	2	0	6	0	0	5	1	1	5	0			
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
商店街	1	2	1	0	3	1	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	3	1			
サーブیس業	1	3	1				3	2	0	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	2	2			
建設業	0	1	0				1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2			
その他																											
19	5	9	5	1	9	1	9	10	0	2	15	2	2	11	6	1	15	3	1	16	2	2	11	6			
100%	26.3%	47.4%	26.3%	8.3%	75.0%	8.3%	47.4%	52.6%	0.0%	10.5%	78.9%	10.5%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	57.9%	31.6%			
38	7	15	16	2	24	4	12	23	3	3	30	5	4	19	15	2	26	10	7	31	5	3	21	14			
100%	18.4%	39.5%	42.1%	6.5%	77.4%	12.9%	31.6%	60.5%	7.9%	7.9%	78.9%	13.2%	10.5%	50.0%	39.5%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	81.6%	13.2%	7.9%	55.3%	36.8%			